



Nagoya GRAMPUS

名古屋グランパス ワイズメンズ クラブ

NAGOYA YMCA5-2 KAMIMAEZU2 NAKAKU NAGOYA 460 JAPAN

国際会長標語 “Be Agents of Change” [変革の担い手になろう] 押し寄せる挑戦に応えるために
 アジア会長標語 “New thinking New action!” [新たな思考で、新たな行動を!]
 西日本区理事標語 “Serve as a bridge for the future” [未来に架ける橋]
 中部部長標語 [高めようリーダーシップ 築こうネットワーク]
 クラブ会長標語 [ワイズスピリットと個性を生かして地域へ出よう!!]

2003年7月号

＜今月の聖句＞

「確かに塩はよいものだ。だが、塩も塩気がなくなれば、その塩はなんによって味が付けられようか。畑にも肥料にも、役立たず、外に投げ捨てられるだけだ」 [ルカによる福音書 14:34~35]

例会出欠・遅刻の連絡は「ご出欠連絡書」によりお願いします

2003年7月例会ご案内

◎第一例会 (一泊例会)

と き : 7月5日(土)・6日(日)

と ころ : 添沢温泉 (雲泉閣山の家)

受 付 : 15:00~

ドライバー 吉田君

・開会宣言、点鐘 佐藤会長

・ワイズソング斉唱

会 食

・食膳の感謝 鈴木連絡主事

・乾 杯 吉田一誠君

・会 食

議 事1: 事業、会計報告、クラブ表彰

・事業報告 佐藤会長

・会計報告 早川君

・クラブ表彰

・役員引継式

・新役員紹介、記念写真

ミッドナイトミーティング: 21:30~

議 事2: 9:00~10:50

ドライバー 佐藤君

・会長挨拶、基本方針、吉田会長

・新年度事業計画(案) 吉田会長

・新年度会計予算(案) 早川君

・各役員活動抱負

閉 会: 10:50

・感謝の祈り 佐藤直前会長

・閉会点鐘 吉田会長

◎第二例会

と き : 7月17日(木)

と ころ : 名古屋YMCA

時 間 : 19:00~

議 事 : 8月例会内容等

6 月 例 会	例 会 出 席 状 況				B Fポイント		クラブファンド(6月)	
	在 席 者	18名	第 1 例 会	16名	当 月・切 手		ニコBOXノート	
例会出席者	18名	第 2 例 会	15名	当 月・現 金		感謝ファンド		
当月出席率	72.2%	部 会 他	名	累 計		累 計		

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

＝強い義務感を持とう。義務はすべての権利を伴う＝

6月第一例会報告

「イラクの人々と私たち 劣化ウランNO！」
小野万里子氏（セイブ・イラクチルドレン名古屋代表）



戦争。連日の報道は、普段ニュースを見ない私でもよく目にしていた。
夜の見慣れない綺麗な街並みに、閃光。
「ああ、爆撃が行われたんだ」と遠いもの——まるで映画やアニメを見る事に近い感覚で見ていた事を、よく覚えている。



ブラウン管を通して見るそれはとにかく現実感の薄いもので、そこに自分と同じように人が存在していると、人が死んでいるんだと、感じられないままだった。



事実を、認識するまでは。
スクリーンに映る、鉄筋コンクリートにぽっかりと開いた穴。爆撃の高熱で床に残った人の跡。カ

メラを真っ直ぐ見つめる病院のベッドの上の子供達、その母親達。
街で普通に生活してる人達が、無抵抗で殺される。明日生き延びる為の薬さえ手に入るかどうか分からなくて、劣化ウランによる副作用で些細な風邪でさえ命に関わってしまう。小さな子供が、自分と同じ歳にさえ、なる事無く死を迎える。
知らなかった、では済まない現実にはただ感情が震えた。
全て、戦争という『大人の事情』が世界に対して何の罪も無い人々を苦しめている。
それは、戦争が一応の終結が宣言された今も、同じ。
この酷い現実を目を背けたまま、知らないままでは変わらない。



何かしろ、とかそういう考えじゃなくて、まずは知る事から始めればいいのかと思う。
そうして考える事。人は考えて生きるものだから、一人一人が考えれば何かが変わると、そう思いたい。

服部あすか

第6回 西日本区大会

2003年6月14日（土）ひこね文化プラザにて第6回西日本区大会が開催されました。彦根という名古屋からも日帰り十分という好条件。余裕を持った工程となりました。グランパスからは佐藤会長はじめ服部、早川、佐々木、荒川の5名の参加となりました。



アジア会長の挨拶

西日本区各クラブから約1000名の参加とのことで西日本区の活性ぶりが伺えました。中部部会からは62名の参加で、いつもの顔ぶれに安堵感を覚えました。ただし、キーマンにご挨拶することができず、後日「君は日本区大会に来たのか」などとお叱りを受けた次第。



グランパス代表5人衆

大会の進行は「格式あるワイズメンズクラブの大会」からは絶対に外れないものでした。

我がグランパスが日本区大会をホストして早5年が経過しました。大会の演出方法もずいぶんかわりました。言葉（文字）から映像へ。このIT化という時代の流れからは当然といえば当然でしょう。

特に各報告はパワーポイント（プレゼンテーション専用）に作られたアプリケーションソフトで企業では一般化している）使用が指定されており、



中部部長によるパワーポイントを使った報告

事前に山本中部部長より中部部会の報告資料をパワーポイント5分でまとめて欲しいとのご依頼があり、協力させていただいた経緯があります。ただ十分な時間がなく完成度に満足するものではありませんが、部長の言葉でうまくまとまりました。次回もし機会あれば他に負けないものを作りたいと思います。



彦根城をバックに楽々園にて

名古屋から近い彦根ですが、今回が初めての訪問です。この機会に要所名所を廻り、天候はあいにくでしたが、いい画像をカメラに収めることができました。



彦根城

また、食の方もせっかく来たのだからと、インターネットで事前調査した服部兄のガイドで、舌と腹を満たすことができました。これもお酒を飲まない（飲めない）早川兄というドライバーあって成り立つことで、参加メンバーは非常に感謝しています。次回は北陸での開催です。メンバー各位、いい旅に参加しませんか。

荒川



西日本区クラブ全パナー

SON愛知から

SON 愛知ニュープログラム (アイススケート) が始まる

会場を通称大須スケートリンク(名古屋スポーツセンター)とし土曜日午前を基本としてSON愛知のアイススケートプログラムが開始されました。

今回は第1回ということもあり15才以上に限定のため、アスリート4名と少人数ではありますが、初心者からフィギュアでの演技可能レベルまで幅広くです。

この参加者から来年2月のナショナルゲーム冬季大会、再来年長野で開催されるワールドゲーム(世界大会)の選手に選ばれるとよいと夢を持っています。

お時間がありましたらアスリートと一緒にリンクで滑って見ませんか、大歓迎です。

現在、ボウリング(星が丘)、水泳(名古屋市障害者スポーツセンター)フロアーホッケー(刈谷市)で日曜日に活動しています。

(SON愛知理事吉田正)



場 所：愛知県添沢温泉 (奥三河山の中)
開湯は武田信玄のころと聞く、武田信玄が眠る福田が近く
宿 : 雲泉閣山の家(緑深い薬湯の温泉宿)
ご主人の村松さんは東京Yホテル専門学校OB
愛知県北設楽郡設楽町大字田口字添沢14
Tel 0536-62-0520
1500坪の庭園・総ひのき張りの大岩風呂・山の幸をふんだんに使った山菜会席他
宿泊費：一泊2食12000円(飲み物料別)

3. お待たせしました

坂口兄のセブ島からのお土産です。少し時間が経過しましたが今が旬です。



魚の名前は「NEMO」かな？

その他お知らせ

1. 強調月間 Kick-off EMC-C

自らが未来に架ける「橋」となり、かつまた、新しい「橋」となる人材を巻き込んで行くような、力強い活動のスタートをいしましょう。

(岡本就介 西日本区 EMC 事業主任)

2. 一泊例会宿の詳細



ベストアングル(解説は坂口兄まで)